

# ぶちらいふ

らいふ通信

**lifsea**  
株式会社リフシア  
ホームページ  
http://lifsea.co.jp  
ぶちらいふ編集室ブログ  
http://lifsea.jugem.jp  
らいふ日記(スタッフブログ)  
green.ap.teacup.com/lifekaigo  
2010秋 Vol.21



これまでの認知症ケアで作り上げた資料に目をおす野間所長。

最近私たち「らいふ神明」で取り組み始めたのは、らいふ神明を利用されている皆さんの『自分史作り』です。

ご家族に昔の写真を数枚お借りし、どんな人生を歩んで来られたか今までの暮らしの情報シートを書いて頂いている最中です。現在私の手元に集まっている記入シートはどれもびっしりで、ご家族のお父様、お母様、ご主人などに対する思いがあらわれています。ご家族の方からは暮らしの情報シートに書いた真を探しながらいろいろと思い返す中で、あらためて自分の家族の歩みを振り返る良い機会になったというご意見も頂き、心から喜びを感じました。介護現場は日々の業務に追われやすく、お客様の『介護が必要となった今の姿』だけを見て仕事をしています。

取れていないその人の歴史に少しでも近づこうという思いは相手にも伝わり、『介護する側、される側』を越えた関係が深まるはず。そして、ご家族やご本人のことをもっと知りたいというスタッフたちの思いがこ



ご家族にお願いした情報シートには、どのような人生を歩んでこられたか、ぎっしり書かれています。



地域の皆さんとも心を通わす機会がたくさんあります。



## 『自分史を作る』ケアに取り組む。

訪問 らいふ神明

「らいふ神明」の野間所長は就任当初から『これまでの認知症ケアの経験を活かして、小規模多機能型居宅介護やグループホームに携わってみたい』と、責任は重いがとてもやりがいがあるんです』と語っていました。もうすぐ就任1年を迎える野間所長に近況を伺いました。

ご家族に昔の写真を数枚お借りし、どんな人生を歩んで来られたか今までの暮らしの情報シートを書いて頂いている最中です。現在私の手元に集まっている記入シートはどれもびっしりで、ご家族のお父様、お母様、ご主人などに対する思いがあらわれています。ご家族の方からは暮らしの情報シートに書いた真を探しながらいろいろと思い返す中で、あらためて自分の家族の歩みを振り返る良い機会になったというご意見も頂き、心から喜びを感じました。介護現場は日々の業務に追われやすく、お客様の『介護が必要となった今の姿』だけを見て仕事をしています。

昔の話を聞き取り積み重ね、その方の歩んでこられた歴史を少しでも知ることができたなら、今まで以上に心の通った深みのある介護が生まれるはず、まだ汲み

家族に伝わっていくとき、その絆もさらに深まると思っています。

「らいふ神明」でやって行こうとしている『自分史作り』は、リフシアの運営理念『心を添えて共に生きる』に繋がっています。この取り組みを続け、スタッフと一緒に具体化することのできたらすばらしいと思います。まだこれからですが、その日を楽しみに頑張りたいと思います。



## 柳島



秋晴れの中、庭に出てのバーベキュー、皆さんおいしく召し上がりました。



お誕生会で職員がお茶をたて、手作りお菓子(さつま芋の巾着)を食べ、お祝いしました。職員も着物に着替え、野点の雰囲気を出し、皆さんで楽しみました。



## 神明

10月22日、ちょっと寒かったけれどお庭でバーベキューを挙行！ホイルの中身はさつま芋とじやが芋、食欲の秋です。



らいふ神明のみなさんと(小規模とグループホームの)合同ハイキング、行き先は平塚市の馬入ふれあい公園です。



## 萩園



9月下旬に行なった敬老祭、スタッフの出し物やボランティアさんがお祝いをしました。愛児園の保育園児の組み体操や歌のお祝いが一番人気だったかも知れません。



10月3日萩園中学校体育館で開かれた第2回福祉まつりに参加しました。手づくり作品を買い物して、久しぶりの人混みも、安心して出かけられるのは、温かい地域の支えがあるからです。

## 松林

宝探しゲームで引き当てたものは何でしょう？



今年の夏祭りは近所の方々へわたあめとカキ氷を振る舞いながら、小規模多機能サービスを知っていただけるようチラシ配布しました。



らいふ萩園  
デイサービス  
居宅介護支援センター  
〒253-0071 茅ヶ崎市萩園2822-1  
TEL0467-89-5277

らいふ松林  
小規模多機能型居宅介護  
〒253-0017 茅ヶ崎市松林2-6-34  
TEL0467-54-8591

らいふ柳島  
小規模多機能型居宅介護  
〒253-0063 茅ヶ崎市柳島海岸19-16-19  
TEL0467-84-1220

らいふ神明  
小規模多機能型居宅介護  
グループホーム  
〒251-0021 藤沢市鵜沼神明2-12-17  
TEL0466-21-7893

らいふ通信「ぶちらいふ」秋号Vol.21  
2010年11月1日(季刊発行)  
編集/ぶちらいふ編集室  
〒253-0071 神奈川県茅ヶ崎市萩園 2822-1  
TEL0467-55-5102 FAX0467-55-5103  
発行/株式会社リフシア

## 編集後記

編集部では、来年のカレンダーを作成中で、何を題材にしようかと事業所を回っていたら「らいふ萩園」で手づくりのティッシュケースを発見しました。認知症サービスで作り始めたら、お隣のデイサービスにも広まったそう、面白いのでここで紹介します。



チラシを丸めて、カラフルな色をつけました



ホームと小規模多機能型居宅介護を行なう予定なので、次回ぶちらいふで取り上げます。お楽しみに！それから、皆様の投稿もお待ちしております。



建築中のらいふ香川2階から見た夕空

「らいふ日記」(ブログ)に、来年4月にオープンする「らいふ香川」の建築中の写真がアップされました。グループホームと小規模多機能型居宅介護を行なう予定なので、次回ぶちらいふで取り上げます。お楽しみに！それから、皆様の投稿もお待ちしております。

【特集記事】小規模多機能で働くケアマネジャー 天野さんに聞く

「小規模多機能型居宅介護」ってなあに？  
いつまでも住み慣れた自宅や地域で、家族や親しい人と最後まで暮らしたい！  
という願いを形にするサービスです。

平成18年4月、地域密着型介護サービスのひとつとしてはじまった小規模多機能型居宅介護は、現在4万1100人あまりの人達が利用しています。リフシアには3事業所あり、来春4月に茅ヶ崎市香川に新しくもう1事業所開設する予定です。このサービスでは、専門の研修を受けたケアマネジャーが必ずいて、利用するご本人の立場から家族、地域、サービスマネージャーをつなぐ役割を担います。今号では、制度化とともにオープンした「らいつ松林」でケアマネジャーをしている天野博美さんに直接現場のお話を伺いました。



誰にとっても自宅は安心でき  
1日の終わりに帰る場所です。  
介護が必要になっても自宅で生  
活したいという思いは変わりま  
せん。小規模多機能型居宅介  
護はそんな思いを支えていく場  
所です。生活の中では突然何が  
起こるかわかりません。わたし  
たちはご家族の急な用事や体  
調不良にも臨機応変に対応し  
ご本人の身の安全を守るお手  
伝いをしています。  
ご家族の介護疲れが見受けら  
れる場合は通い日数を増やし  
たり宿泊利用を勧めたりもし

ます。なかなか外出したがら  
ない方には1日のうちに何度  
か訪問にお伺いし職員との関  
係を築きながら生活リズムの  
安定をはかることもありま  
す。また急変時には病院に付き  
添ったり、自宅での不穏時に駆  
けつけることもあります。  
小規模のケアマネは他の職員  
と一体になって行動し実際に  
介護現場に入りながらご本人  
の状況を把握しているので急  
なサービス内容の変更も可能  
です。また、介護保険を使っ  
てできること、介護生活を続  
けていくために必要なことな  
ど心配事や相談をお聞きする  
のも大事な仕事なので気兼ね  
なくお声をおかけください。  
(ケアマネジャー  
天野 博美)



定期的に行なっている園芸をとおして草花に親しむレクリエーションでは、秋に似合う花を楽しみました。



世間話をしながら、最近の様子を細かく聞き取るケアマネジャーの天野さん、普段から介護現場にも入り一緒に生活しているから、「らいつ松林」を利用しているお客様の素顔に接することができる。

らいつでは、バザーを行ったり、お買い物やドライブに出かけるなど「普通の生活」をみなさんと営んでいます。ここで紹介するのは、10月に「らいつ松林」で、飯塚先生を地域のコミュニティセンターに招いて行なったお料理会です。ケアマネジャーや現場のワーカーのお手伝いで実現しました。『介護が必要になっても楽しみを持ち、自分らしく生きる』『と言つ、当たり前ができるのはとても大切ですね。』(編)



こうやって茶筒のふたにラップをひいて材料を詰めるだけです。



メニューは「茶筒寿司」と「はんぺんのお吸い物」抹茶ミルクゼリーのあんこのせです。おいしそうですね。

らいつ松林お料理教室



10月6日(水)小和田コミュニティセンターにて、飯塚先生をお迎えしてお料理好きな女性のお客様5名で、お寿司づくりをしました。



作り方はとっても簡単です。茶筒の酢飯、桜でんぶ、玉子、絹さやなど、色とりどりの具材をお好きなように詰めてひっくり返すだけです。みなさん個性的でカラフルなお寿司ができました。



湘南つれづれ⑥  
相模灘の落日



大田子海岸、黄金崎の夕日

「湘南つれづれ」の第一回の冒頭に、徳富蘆花の『自然と人生』というエッセイがあると書きましたが、その中に「相模灘の落日」という文があります。  
文語体でやや難解ですが、情景がわかりますので、原文にルビ(内)をつけてみました。  
相模灘の落日  
秋冬全く風(な)ぎ、天に一片の雲なき夕べ、  
立って伊豆の山に落つる日を望むに、世に斯(か)かゝる平和のまた多かる可(べ)しとも思われず。  
日の山に落ちかかりてより、其(その)全く沈み終わるまで三分を要す。  
初め、西に傾くや、富士を初め相豆の連山、煙の如く薄し。  
日はいわゆる白日、白光爛々(らんらん)として眩(まぶ)しきに、山も眼を細ふせるや。  
日更に傾くや、富士を初め相豆(そうず)の連山次第に紫になるなり。  
日更に傾くや、富士を初め連山紫の肌に金煙を帯(お)ぶ。  
此(この)時浜に立って望めば、落日海に流れ、我足下に到り、海上の舟は皆金色を放ち、逗子の浜一帯、山と云はず、砂と云わず、家と云わず、松と云わず、人と云わず、  
転(ころ)がりたる生簧(いけす)も、落ちたる蓑屑(わらくず)も、赫焉(かくえん)として燃へざるはなし。  
かかる風の夕に、落日を見るの身はあたかも大聖の臨終に侍(じ)するの感あり。  
莊嚴の極(きわみ)、平和の至(いたる)、凡夫も靈光に包まれて、融け、靈独り(ひとり)端然として  
永遠《イタルニテ》の浜に佇(ただずむ)むを覚ゆ。以下略  
『自然と人生』より  
蘆花は主に逗子や葉山から見た情景を描いていますが、藤沢鵜沼海岸や茅ヶ崎海岸のヘッドランド、サザンビーチ、西浜などの海辺に座って、伊豆の山並みに夕日が落ちるのを眺めていると、全く同じ光景に出会えます。百年以上経っても変わらない悠久の風景がそこにはあります。(井)